

飯豊連峰保全連絡会 ニュースレター

発行者：飯豊連峰保全連絡会

■飯豊連峰保全連絡会 第23回会合の概要について

令和元年6月5日（水）、新潟県関川村 関川村村民会館において開催された会合では、令和元年度活動報告（1各団体活動計画、2飯豊連峰保全連絡会活動計画）、その他の議題について話し合われました。会合の概要を以下のとおりまとめましたので、お知らせします。

議題1 令和元年度各団体活動計画

飯豊連峰に関わる山岳団体、関係行政機関等の各団体より持ち寄られた登山道整備や保全活動等の活動計画の報告、情報交換が行われました。



【平田代表の挨拶】



【会合の様子】

議題2 令和元年度飯豊連峰保全連絡会活動計画

当会の令和元年度活動について、下記のとおり本会の承諾をいただきました。

活動	日程	場所	内容
第23回会合	6月5日(水)	関川村 関川村村民会館	令和元年度活動計画等を共有
合同保全作業 下見(技術部会)	8月3日(土)～4日(日) (1泊2日)	飯豊連峰 梶川尾根付近	飯豊連峰保全連絡会の合同保全作業場所の下見を実施
合同保全作業	8月31日(土)～ 9月1日(日)(1泊2日)	飯豊連峰梶川尾根	洗掘された登山道の修復作業等を実施予定
秋期(11月)会合	事務局体制の事情により、今年度秋期会合は開催しない。今年度実施結果報告、次年度実施計画の策定は、次年度春期(6月)会合で対応する。		

議題3 その他

●今年度合同保全作業に係る荷上げについて<井上邦彦幹事より>

今年度の保全作業物資(約450kg)を、門内小屋から梶川尾根まで人力で搬送する必要があります。事前搬送について、会員の皆様の協力をお願いします。

●今年度事務局運営について<東北地方環境事務所より>

当会の事務局は、羽黒自然保護官事務所となっていますが、環境省組織内の事情により、今年は東北地方環境事務所(国立公園課)が事務局業務を担います。今年度秋期会合は開催しないことで承認いただきましたが、今年の登山シーズンの状況を踏まえ、当会で議論すべき課題等あれば、事務局へご連絡下さい。

裏面に続く→

■令和元年度飯豊連峰保全連絡会合同保全作業の報告について

令和元年8月31日(土)に飯豊連峰の梶川尾根上部で令和元年度の合同保全作業が行われました。梶川尾根上部での合同保全作業は平成18年の実証試験より数えて7回目の作業となりました。

【実施スケジュール】

●8月31日(土) 天候 晴れ後曇り(途中雨)		参加者 57名
4:00	天狗平ロッジ集合(点呼、作業内容等確認)	
4:30	登山開始 作業地到着次第、班別に作業開始(途中休憩昼食)	
12:30	作業ふりかえり、講評	
13:45	下山開始	
17:30	天狗平ロッジ着	
	作業後集合写真→	

【状況及び作業内容】

作業箇所は、梶川尾根上部の標高1800m付近で実施しました。当該地は偽高山帯で登山道のガリー(降雨や流水によりできた溝)侵食や拡幅等によって荒廃している箇所、平成18年度実証試験、平成21、22、24、25、26年度に続いている合同保全作業となり、これまでの保全作業の成果が現れ始めています。流水速度を落として土砂流出を防ぐ、土留め箇所では、順調に土砂の堆積があり、その土砂を他の作業に活用できる段階となっています。

保全作業物資約450kg(ヤシ繊維、ヤシネット(源五郎ネット)、ヤシ土嚢袋)は航空会社の都合により、急遽門内小屋へ荷下ろしすることになり、梶川尾根への人力による移動が必要になりましたが、多くの方々により合同保全作業前の移動を完了することができました。

当日は4班に分かれて、作業を実施しました。登山道の補修はヤシ土嚢袋に堆積した土砂とヤシ繊維及び植物の種子を詰めたものを、洗掘された箇所に土留として設置しました。また、ヤシ土嚢袋設置箇所の隙間はヤシ繊維などを詰めて、補強しました。さらに、登山道を通る水で洗掘されないように、ヤシネットの中に、ヤシ繊維と土砂を混ぜてそれをロール状にして、登山道に設置し、水切り対策を行いました。そのほか、拡幅した登山道で登山者を歩行路へ誘導するために、白ロープを敷設しました。

【土嚢設置作業中】

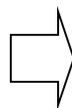


【作業前】

【ヤシネットをロール状に作業中】



【作業後】



作業終了後には、全員で施工箇所のふりかえりを行い、川端氏（(株) ニュージェック）より講評をいただきました。今回の合同保全作業では、幹事の井上氏（小国山岳会）に統括リーダーとして、指揮監督等、子細に渡ってご尽力いただきました。また、小国山岳会の皆様には天狗平ロッジでの宿泊（前泊、後泊）等についてご対応いただきました。

当日の作業に加え、事前の資材の移動につきましても、大勢の方々にご協力いただきました。

また、今回（株）山と溪谷社様の「日本山岳遺産基金」から保全資材の購入費及び空輸費の助成をいただきました。作業に関わっていただいた飯豊連峰を愛する多くの登山者や山岳関係・地域関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。※保全作業に関してはあらかじめ許可をとって実施しております。



【ふりかえりの様子】

■令和元年度飯豊連峰保全連絡会幹事会の結果について

令和元年12月12日（木）に山形県小国町「民宿奥川入」で開催されました幹事会では、令和元年度の活動を振り返り、令和2年度の計画について話し合われました。幹事会の概要をまとめましたのでお知らせいたします。

議題1 令和元年度活動報告

合同保全作業、植生復元箇所モニタリング結果、登山者カウンター結果の報告がされました。

議題2 令和2年度活動計画

令和2年度の活動計画について検討の結果、以下の計画案となりました。この計画案は、第24回会合に諮られます。

活動	日程	場所	内容
第24回会合	6月1日（月）	胎内市	令和2年度活動計画等を共有
合同保全作業 下見（技術部会）	7月12日（日）	飯豊連峰 丸森尾根付近	飯豊連峰保全連絡会の合同保全作業場所の下見を実施
合同保全作業	8月29日（土）～8月30日（日）	飯豊連峰 丸森尾根付近	裸地化した登山道の修復作業等を実施予定
保全技術講習会	7月11日（土）	小国町	合同保全作業の基本について座学を実施予定。

議題3 その他

現幹事に継続が困難で会からも後任を選出ができない状況の方が出たことから対応を相談しました。その結果、別の会より別途選出する調整を行うことになりました。本件は、第24回会合に諮られます。

また、国立公園における総合型協議会設立の動き等について情報共有されました。

【発行者】飯豊連峰保全連絡会
(事務局) 東北地方環境事務所 (増田、澤野)
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-2-23
TEL : 022-722-2874 FAX : 022-722-2872

【参考ホームページ】

・環境省 磐梯朝日国立公園 各種資料
(飯豊連峰保全連絡会の会則やニュースレター等)
<http://www.env.go.jp/park/bandai/data/index.html>
・東北地区アクティブ・レンジャー日記
<http://tohoku.env.go.jp/blog/>